



東福寺野地内の間伐跡



堀江自然ふれあい広場

決算特別委員会を開催

9月13日、17日、18日、20日の4日間にわたり、滑川市の平成30年度の決算を審査するための決算特別委員会が開催され、市の予算がどのように使われたのか、チェックを行いました。

令和元年9月定例会一覽

令和元年9月定例会一覧

開会
9月2日

閉会
9月25日

会期24日間

○本会議（主な内容）

2日
会期の決定
提案理由説明
補足説明
決算特別委員会の設置
代表質問・一般質問
一般質問

10日
議案の委員会付託

25日
委員長報告・質疑・討論・採決
追加提案
提案理由説明・採決
議員提出議案
提案理由説明・質疑・討論・採決
議員派遣
閉会中の継続審査

○委員会

10・18・20日
議会運営委員会

11日
総務文教消防委員会

12日
産業厚生建設委員会

13・17・18・20日
決算特別委員会

○議案の審議結果

予 算（原案可決）
4件

条 例（原案可決）
8件

その他（原案可決）
6件

その他（原案認定）
7件

人 事（原案同意）
1件

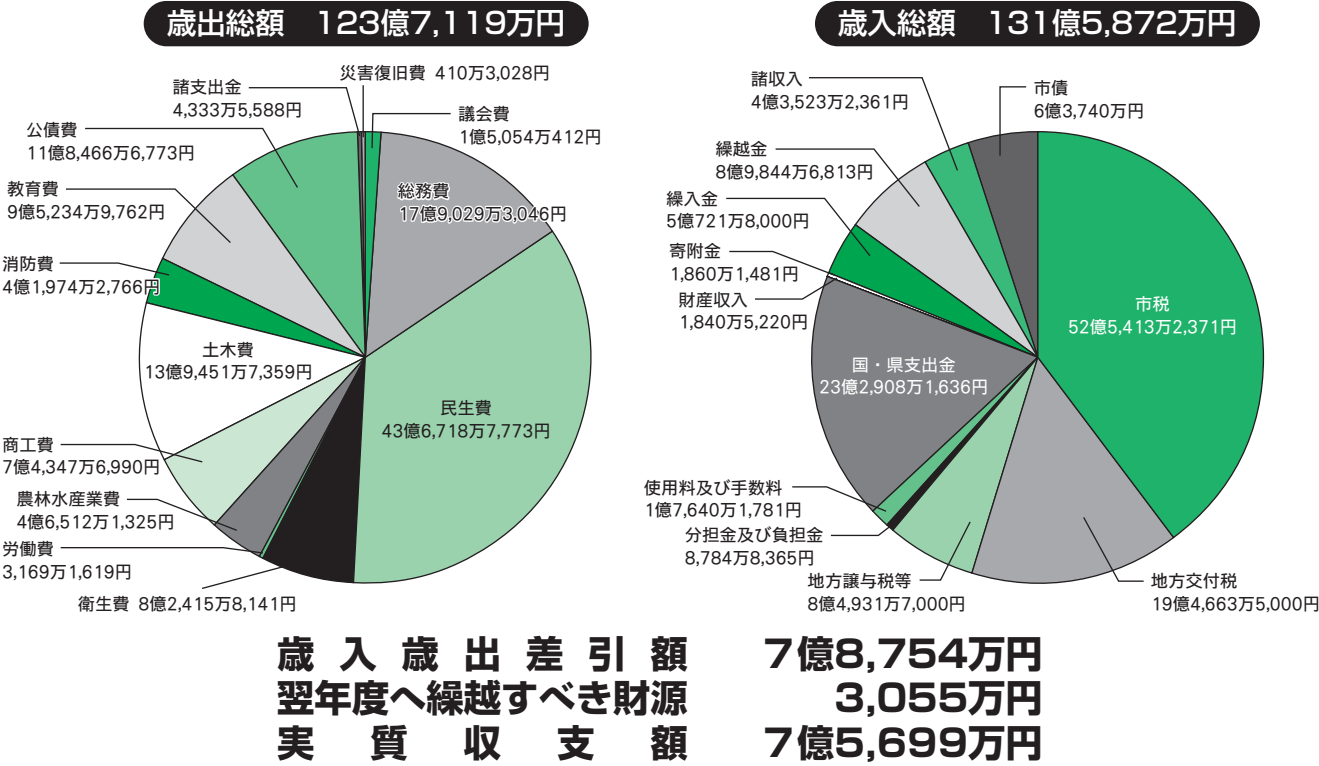
議員提出（原案可決）
1件

合 計
27件

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は12月です。

平成30年度の滑川市の決算について審査を行いました

一般会計



令和元年9月定例会において、決算特別委員会が設置され、平成30年度一般会計、特別会計及び企業会計の決算審査が行われました。

決算特別委員会の委員は次のとおりです。

◎決算特別委員会委員

委員長	副委員長	委員
開田晃江	青山幸生	大浦豊貴
		脇坂章夫
		角川真人
		竹原正人
		尾崎照雄
		岩城晶巳
		古沢利之
		中川 勲
		高橋久光

平成30年度より、原則全議員で決算特別委員会を組織することとしました。（ただし、当該年度の議長及び議会選出の監査委員は委員になりません。）

平成30年度の滑川市の予算の使われ方、実施した事業の成果等について、特に、予算額に対し決算額が低いもの（不用額が多いもの）や、新規事業、前年度に比べて増減の大きいものを中心に、必要な場合は資料の提出も求めながら審査を行いました。

特別会計

会 計 名	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	29億7,892万円	29億2,137万円
後期高齢者医療事業	8億492万円	7億9,457万円
介護保険事業	28億7,667万円	28億4,803万円
サービス事業	1,128万円	1,128万円
工業団地造成事業	8,123万円	8,123万円

企業会計

事業	収入済額	支出済額
水道事業		
収益的収支	4億7,212万円	3億9,872万円
資本的収支	5,000万円	2億3,946万円
下水道事業		
収益的収支	14億3,741万円	12億3,058万円
資本的収支	10億653万円	15億153万円

4日間にわたる審査の結果、各会計決算については、議決予算に基づいて適正に執行され、計画された事業は概ね所期の成果を挙げているとともに、行政効果も達成されたものと認め、決算特別委員会に付託された9議案については、賛成全員により認定または可決すべきものと決しました。

また、審査終了後、今後改善を求める事項として、歳入3項目、歳出14項目を市に提出しました。（4ページ記載）

9月定例会

本会議

◇9月2日に本会議を開き、まず会期を決めた後に、予算及び条例等の市長提出議案23件並びに報告3件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長などから議案の補足説明がありました。

その後、本会議を再開し、決算特別委員会の設置を決めるとともに、委員の選任を行いました。

◇9日、10日は代表質問及び一般質問が行われ、11名の議員が市政一般に対する質問並びに提出諸案件に対する質疑を行いました。

質疑終了後に、市長提出議案を所管の各委員会へ付託しました。

◇最終日の25日には本会議を開き、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長及び決算特別委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

市長提出議案23件については一括採決の結果、各常任委員長及び決算

特別委員長の報告のとおり賛成全員で可決または認定されました。

次に、市長から人事案件として、滑川市教育委員会の委員に石原大三氏（中塚）を任命することについて追加提案され、同意としました。

その後、議員提出議案として「豚コレラ対策の強化を求める意見書」が提出され、賛成全員で可決されました。最後に議員派遣及び閉会中の継続審査を議決して、9月定例会を閉会といたしました。

常任委員会・決算特別委員会での審査（主な質疑等）

各常任委員会等への付託案件はP12をご覧ください。

総務文教消防委員会

付託された5議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

☆令和元年度滑川市一般会計補正予算（第2号）について

問 スポーツ・健康の森公園整備費

で屋根付きの駐輪場を2か所整備することだが、整備する場所・大きさなどを説明願う。

答（上田教育委員会事務局長） 第1駐車場の正面入り口の左側に幅2m長さ20mの駐輪場が1つ、そこから富山側にあるトイレの山側に長さ10・5mほどの駐輪場がもう1つある。その2か所に屋根を設置したいと考えている。

問 幼児教育・保育の無償化は複雑でわかりにくい。保護者へ保育料がどうなるのかを市、または、園から案内をしているのか。

答 8月末に9月からの保育料について通知しており、10月以降に無料となる方には、併せて、保育料無償のお知らせを同封した。副食費についても3・5歳児の保護者へ園を通して通知を配布した。また、各園においても、10月までに保育料や副食費等についての説明を行っている。聞いている。

産業厚生建設委員会

付託された10議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

☆令和元年度滑川市一般会計補正予算（第2号）について

問 森林整備対策事業費について、伐採する場所はどこか、また市有林

が、個人の山か。

答 場所は養輪の集落から、県道宇奈月大沢野線を上市側へ約1・8キロメートル行つた養輪の山林で、整備面積は約5ヘクタールを予定しており、実施主体は新川森林組合、すべて民有林である。

問 関連して、間伐した木材について、滑川市で利用した残りはどのようにに活用するのか。

答 予定されている西部小学校区の放課後児童クラブ施設で利用して、余れば県産材として森林組合が売ることになる。

（上田市市長） 林業は70年近く放っておかれた。最近になって、手つかずだったところに手を付けた。木を切り出すための林道の整備から始めなければならぬ。林業は行政でカバーしないと木を有効に使っていくべきだと思う。

問 運動公園管理費で購入予定のスポーツトラクターについて、グレードは、今までよりも上のグレードか。

答 滑川運動公園には3つの野球場があり、スムーズに整備するため、今よりもひとつ上のグレードを考えている。

問 スポーツトラクターのグレードについては、市の判断か。

答 市の見解である。

問 関連して、購入に際しては、修繕箇所も考慮して、指定管理者との協議があつてしかるべきではないか。

〔答〕指定管理者である体育協会の中には、野球協会で実際に操作している方もおられるので、指定管理者からの要望として受けている。
(上田市長) 野球協会は積極的にメンテナンスを含めてやっていただいている。必要以上のものを要求しているわけではない。

決算特別委員会

審査議案は9議案であり、議案はいずれも原案のとおり認定または可決しました。

なお、今後改善を求める事項については、次のとおりです。(本記事はP2)

【歳入】

1 市税等徴収対策室を有効に活用され、税や使用料、家賃などの収納率向上対策が図られて、その成果として収納率が向上しているが、口座振替の促進やコンビニ収納のPRを強化するなど、さらなる収納率の向上を図りたい。

2 市税(住民税・固定資産税・軽自動車税等)、国民健康保険税、介護保険料、上下水道料、市営住宅・定住促進住宅家賃等については、不納欠損とならぬよう、滞納未然に引き続き努めるとともに、滞納額が小さなうちから早期徴収対応に努められたい。特に、悪質な案件については、負担の公平性

の観点から、さらに厳しい対応策を検討されたい。

3 消費税率が8%から10%に引き上げられることによる影響や、税制改正に伴う影響等を踏まえた上での予算編成を検討されたい。

【歳出】

1 全般的に多額の不用額が発生しているが、予算要求時において前年度の不用額の内容を検証するとともに、見積額の審査を厳密に行い、予算査定においても査定を厳しく行った上で新年度予算に反映されたい。

2 主要施策報告書をリニューアルされ、わかりやすい資料の作成に努められているが、事業の効果や必要性、有効性等の観点から評価を実施した事業評価書の作成についても検討されたい。

3 愛市購買の観点から、全庁及び関係機関の各種物品等の購入及び工事等の発注にあたっては、地元業者を最優先されたい。

4 市全体が、慢性的な人手不足であることを把握した上で、必要に応じて課の集約・編成を行うなど適正な職員の配置に努められたい。

5 公共施設の維持管理に年々多額の費用がかかっており、特に突発的な修繕費においてはその傾向が顕著である。施設の再編、複合化等も踏まえた中長期的なアクションプランを作成するなど、具体的な対策に早急に取り組まれたい。

また、修繕を実施する際には、長寿命化を図る観点から、しっかりと経年劣化、材質、安全性、使用頻度等を考慮したうえで、実施されたい。

6 各種団体への種々の事業補助金に関しては、補助金の使途が事業目的にかなっているものであるか精査の上、適正な運用がなされるように指導されたい。

7 市民サービスメニューや各種事業について、広報やホームページでの告知だけではなく、あらゆるPRの方策を検討されるとともに、市民と接する職員自身が内容を熟知して、周知と利用が促進されるよう努められたい。

8 がんなどの病気の早期発見・治療のため、特定健診やがん検診等の受診率向上についてPRにつとめ、引き続き努力をされたい。

9 市営住宅(サンコーポラス上小泉)、定住促進住宅(サンコーポラス上小泉、吾妻、北野)それぞれの住宅において、入居者増に向けた政策を検討されたい。

10 市内公園について、整備後の管理運営が適切に行われるよう努められたい。また、今後、公園面積整備対象箇所数も増加することが考えられるため、公共施設建設と同様に整備後の維持管理費も考慮し、委託業務の見直し、整備手法の変更なども検討されたい。

11 上下水道事業について、老朽管

の敷設替え等を計画的に実施するとともに、今後見直しを図る公共施設等総合管理計画の中でも、効果的なストックマネジメントの推進に努められたい。

12 学校施設の管理運営について、適切な予算配分を行い、子どもたちの学習環境の改善に努められたい。

13 文化・伝統・郷土芸能を次世代へと伝承するため、保存会等の育成や活性化に対してさらなる支援と併せて、心豊かなまちづくり事業を通して、郷土芸能(盆踊り等)の開催を検討されたい。

14 消防団員の充足について、一層のPRや報酬の見直しを行うなど、人員の確保に努めるとともに、企業・団体等にも協力を呼びかけられたい。

第1回臨時会

令和元年第1回市議会臨時会は、会期を8月2日の1日間と決めた後に、議案第53号「動産の取得について」の市長提出議案1件及び報告5件が上程され、市長から提案理由の説明がありました。

次に、市長提出議案を所管の常任委員会へ付託しました。

その後、本会議を開き、常任委員長から付託議案の審査結果の報告があり、採決の結果、委員長の報告の

とおり、賛成全員で可決され、第1回臨時会を閉会いたしました。

日誌

元年8月

2日 第1回臨時会

全員協議会

産業厚生建設委員会

富山県市議会議長会

臨時総会、県知事との懇談会（射水市）

9日 議会運営委員会協議会

定例議員協議会

富山県日韓友好議員連盟

理事会・総会・講演会（富山市）

19日 富山県東部消防組合議会提出案件議員説明会（魚津市）

20日 上市町議会議員との交流会（上市町）

22日 富山県東部消防組合議会議員協議会、全員協議会、本会議（魚津市）

26日 議会運営委員会

北朝鮮に拉致された日本人を早急に救出する富山県議員連盟理事会・総会・講演会（富山市）

28日 滑川中新川地区広域情報事務組合議会臨時会

産業厚生建設委員会協議会

定例議員協議会

9月

25日 9月定例会

姉妹都市親善交流訪問（北海道豊頃町）

10月

25日 議会報編集委員会

1日 山梨県南アルプス市より行政視察

23日

朝日滑川間国道・バイパス建設促進期成同盟会要望（東京都、新潟市）

8日

北海道名寄市より行政視察

9日

富山県市議会議長会正副議長研修会（黒部市）

10日

議会運営委員会協議会

17日

議会報編集委員会

21日

議会報編集委員会

24日

富山地区広域圏事務組合議会議員協議会（立山町）

富山地区広域圏事務組合議会10月定例会（立山町）

熊本県人吉市より行政視察

富山県市議会議長会

議員研修会（高岡市）

島根県松江市より行政視察

代表質問

9月定例会では11名の議員が質問を行い、31項目について市当局の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

（すべての質問等詳細を記録した会議録は、12月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定です。）
ご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されており、また、ご利用ください。
※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項です。

代表質問



第4次総合計画、後期基本計画を基に伺う

（会派＝会派自民） 高橋 久光 議員



Q 芸術・文化の振興の中で、具体的にどのような対応をしているのか。

A 伊東教育長 新川古代神保存会

や新川松坂踊り保存会は、地域の歴史と伝統の中で生まれ、守り伝えられた地域の宝。郷土芸能の保存継承のため、今後とも引き続き支援に努めて行く。

Q 福祉と健康のまちづくりの中で婚活支援活動の状況と成果は。

A 石坂総務部長 市主催の婚活イベントには延べ415名参加し、カップルが成立した37組のうち5組が成婚に至った。今後、幅広い出会いの場の提供を目指したい。

Q 人が集う魅力あるまちづくりの中で、旧街道瀬羽町地内と橋場周辺の環境整備は。

A 藤名建設部長 空き家、空き地を活用した店舗の創業者に支援するなどし、歴史的文化財の保存、継承、周辺の修景整備に努めたい。

Q 中滑川駅、滑川駅周辺の環境整備は。

A 上田市長 最初は、厚生連滑川病院の退院後の施設ができないかと相談したが、農業関係の病院であって、国が許可しないということ、断念せざるを得なかった。

産業厚生建設委員会での研究の結果、改めて検討を続けている。

Q 観光の振興について。

A 石川副市長 ほたるいか観光は今日では世界中から観光客がおいでになり、最も基幹的な観光である。その他、湾岸クルージング、ほたるいかミュージアム、タラソピア、宿場回廊には多くの国登録有形文化財がある。このほか、行田公園、東福寺野自然公園、イベントではほたるいか海上観光、龍宮まつり、ねぶた流し等々季節ごとのイベントがある。また、7月には台湾での美食展へ出展し、非常に自信を持って帰ってきた。今後の大きな成果に期待している。

Q 伝統的産業（家庭薬配置業）の従事者減少について

A 藤田産業民生部長 従事者の高齢化や後継者不足があげられる。今年度「薬のまち滑川」のPR活動が実施される。市としても連携を図りながら業界の発展、後継者の育成確保に取り組んでいきたい。

Q 今後離農者が増えると思うが。

A 藤田産業民生部長 農業者の減少に歯止めがかからない。関係機関と連携して取り組んでいく。

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

代表質問



1 就学援助について
2 国保税負担の軽減について
(会派〓日本共産党議員団) 古沢利之議員



Q 就学援助は、経済的理由で就学困難な児童の保護者を援助するもので、市町村が実施主体だ。文部科学省の調査では、約75%の市町村が生活保護基準に一定の係数をかけて、認定基準としている。多くは1・2倍から1・3倍を基準にしているが、本市では1・0倍だ。引き上げを求めたい。

A 伊東教育長 本市では平成25年8月以前の旧生活保護基準額の1・0倍未満としている。

Q 本市も平成17年までは1・5倍だったが順次引き下げられてきた理由は何か。

A 伊東教育長 国の制度、方針の変更によるものだ。

Q 具体的にはどういうことか。

A 伊東教育長 当時は国の補助だが、現在は市が単独で行っている。就学援助の考え方の後退だ。基準の見直しを求める。

A 伊東教育長 意見は要望として受け止める。

Q 「入学準備金」は平成30年3月から入学前に支給されるようになった。認定の基準は家族の年齢、構成によって変わる。当該児童の年齢をどう扱っているか。

A 伊東教育長 入学前の支給認定

では、5歳児の需要額をもとに計算している。

Q 5歳児と6歳児では基準額が変わる。制度の趣旨から、当然入学時の6歳で計算すべきだ。

A 伊東教育長 文科省から指示等はないが、現在問合せ中であり、確認後必要なら検討したい。

Q 5歳と6歳では扶助費等でいくら違うか。

A 伊東教育長 およそ、生活扶助で6千円余り、教育扶助で6千円余り、あわせて1万2千円余りと想定される。

Q 本市では国保の被保険者1人につき、2万5千500円の均等割が賦課される。全国では均等割を独自に見直す自治体が増えている。子育て世帯の均等割を見直す考えはないか。

A 藤田産業民生部長 平成30年度から、県が国保財政の運営主体となり、将来的に県内の保険料水準の統一化を目指している。現時点で、子どもの均等割の減免措置は難しい。国に対し、子どもの均等割軽減制度と軽減分の財政支援を全国市長会から要望している。

・その他質問
子どもの医療費無料化について

一般質問



1 連携中核都市圏について
2 令和の時代の観光について
3 公園について
4 選挙について

中川 勲 議員



Q 連携中核都市圏は、富山市が中心となり滑川市、上市町、立山町、舟橋村と連携協定を結び、地域経済を持続可能なものとし、各種事業を行うものである。その効果が出ているのか。

A 相沢企画政策課主幹 代表的な取り組みとして富山市が設置するまちなか総合ケアセンターでの事業の共同利用や、子ども医療費助成事業は、圏域内の医療機関において窓口負担を必要としない取り扱いが可能となった。実際の利用実績は広報等で周知されていない。

Q 市民への積極的なPRが足りないのではないか。

A 相沢企画政策課主幹 市民の利用を想定しているそれぞれの連携事業は、チラシ等により積極的なPRに努める。

Q ほたるいか海上観光、富山湾岸クルージングにおいて新しい取り組みをするのか。

A 網谷観光課長 今後は、今富山湾で遊覧船を運航している氷見「若潮」、射水「万葉丸」、本市「キラリン」の3社の遊覧船が連携して、富山湾満喫「船の乗り歩きスタンプラリー」を実施する。

Q 本市ならではの旬の食材を味わう旅の企画を考えるべきと思うが。

A 網谷観光課長 本市でブランド化した急速冷凍ホタルイカ、深層水の天日塩「健好の塩」を食材として前面に押し出して、旅行会社等に営業活動を行っている。

Q 2016年から選挙権年齢が20歳から18歳に引き下げられた。若者の投票率の向上は、我が国の健全な議会民主主義にとって重要なことである。若い世代に政治へ関心を持ってもらうには何が必要か。

A 伊井監査委員事務局長 若い世代には、政治が難しい、面倒だ、興味がないといった政治から遠ざかる風潮がある。政治に参加するための政治的教養を学ぶ主権者教育が必要かつ重要である。

Q 期日前投票所をもっと身近にできないのか。

A 伊井監査委員事務局長 期日前投票所の増設は、投票環境の向上を図る有効な手段であるが、適地の確保、選挙事務に必要なネットワークの構築とセキュリティの確保、人員配置の問題等を整理したうえで検討したい。

一般質問



3 2 1

森林環境譲与税の活用について
観光振興について
シヤンバーグ市との姉妹都
交流について

竹原 正 人 議員



Q 森林環境譲与税の基金条例の制定により、今後当局としてどのような運用を目指すのか。

A 黒川農林課長 今年度より国から譲与される森林環境譲与税を受け入れるにあたり制定するものである。基金の使途については、間伐などの森林整備と、森林整備を促進するための人材育成と担い手の確保、木材利用の促進及び普及啓発等の事業に充て、林業振興の財源として有効に活用していく。

Q 台湾美食展へ本市がブースを出した成果をどう考えているのか。

A 網谷観光課長 会場全体の中でもひととき注目を集めていた。現地で直接体験してみなければわからないことも数多くあり、食に対する考えなど体験できたこともあり、今後誘客を進めるうえで、大きな成果になるものと考えている。

Q 来年度以降、今回のブース出展も含め、台湾との観光振興をどう進めていくのか。

A 網谷観光課長 今年度の出展の経験を生かして、来年度以降も継続して出展したい。あわせて旅行会社のPR活動、本市のツアーモニターなど、これからも旅行会社

との連携による旅行商品の開発を進めていきたい。

Q 訪日外国人が滑川市へ観光客としてたくさん来て頂けるよう、国が進めるクールジャパン戦略について、本市はどう考えているのか。

A 網谷観光課長 今月、新クールジャパン戦略が決定された。その詳細について、今後も情報収集を行って、本市へのインバウンドにつながるよう研究したい。

Q シヤンバーグ市との姉妹都市交流について今後どう進めていくのか。

A 上田市長 2年前、2回目の訪問をした。中学生の交流は3年に1回は継続していきたい。これからシヤンバーグとの関係はこれから以上に幅が出てくると思っている。アメリカ人のスケールの大きさ、心の大きなシヤンバーグの皆さんであり、学ぶことが非常に多い。これから拡大の方向で進めたいと思っている。

Q 市内中学生がシヤンバーグ市へ訪問して来年で3年がたつ。来年度、訪問団を結成して交流を図るのか。

A 上田市長 そのとおり。

一般質問



2 1

観光戦略について
人口増加について

青山 幸 生 議員



Q SNS映えを観光戦略に掲げたが、どのように展開しているか。

A 網谷観光課長 平成30年6月定例会で観光戦略を提案したが、具体的なツアープランやセット料金

の設定には至っていない。富山湾岸クルージングでは、雄大な立山連峰と富山湾の景観を同時に楽しめることから、写真撮影とSNS投稿を促している。

Q 現在、本市のSNS映えをするものは何か。それを仕掛ける工夫はあるか。

A 網谷観光課長 まずはホテルイ

カの光がある。景観は3千メートル級の立山連峰や、世界で最も美しい湾クラブに加盟している富山湾がある。特にレストラン光彩からの景色はSNS映えするものと思っている。

Q 第5世代移動通信システム「5G」が2020年に予定されている。観光課は次世代ツールの理解をしなければならぬと考えるが、情報収集はどうか。

A 網谷観光課長 日本では現在、

多くの分野で活用するための実証研究段階でデバイスやアプリケーション等のインフラ整備コストが不

明確であり、具体的な活用を検討するにはまだまだ情報が不足している。今後も継続して情報収集を行い、政府や他自治体の状況等も参考にしながら研究したい。

Q 国の幼児教育無償化に伴い、第2子保育料無料の本市最大の差別化が消える。次なる手は。

A 相沢企画政策課主幹 今回、無償化とならない、0歳児から2歳児までの低所得者世帯以外の世帯の、第2子以降の子どもに係る保育料無料化については、引き続き本市独自の施策として継続する。目玉の施策は今後、次年度以降の継続的な検討としたい。

Q 都市計画マスタープラン住環境創出地区の老朽空き家を買取りし、新たな若者向け戸建てアパートの建設はどうか。特に東加積地区、中加積地区。

A 石井まちづくり課長 市では現在、

低所得者向けである市営住宅及び定住促進住宅の管理運営を行っている、新たな若者向けアパートの建設については、民間事業者に担

っていたきたいと考える。

一般質問



4 3 2 1

シャング市との交流について
自転車活用推進施策について
ドクターヘリのヘリポートについて
中滑川駅前周辺整備事業について

浦田 竹昭 議員



ていない。

Q 滑川消防署のグラウンドのヘリポートとしての専用施設整備について見解を問う。

A 按田消防署長 消防署周辺の砂じん等の飛散が多く、アスファルト化への措置を検討しており、来年度、予算要求の予定である。

Q 基本構想の位置づけ・認識、並びに当局の事業執行のプロセスについての認識を問う。

A 石川副市長 基本構想は、施策や事業における基本概念で、その後の設計の基となるものであり、事業の執行にあたっては、基本構想を示し、その後基本設計に入っていく流れと認識している。

Q 災害時の避難拠点施設として、主にどのような災害を想定され、避難者の最大収容人数並びに収容期間について問う。

A 石井まちづくり課長 災害時の一次避難場所として機能させるため、様々な自然災害のうち、特に短時間で避難が重要となる津波を想定しており、300人程度の収容人数で、仮設の住まいが確保されるまでの期間を想定している。

一般質問



2 1

コミュニティバスについて
厚生連滑川病院について

角川 真人 議員



Q 65歳以上で免許証を自主返納された方に交付しているバスのフリー乗車券だが、これの有効期限が短いのではないか。有効期限をなくせないのか。

A 石坂生活環境課主幹 フリー乗車券に利用回数の制限をかけていないこと、鉄道など他の公共交通機関でも運賃割引を行っているため、利用期限の延長は考えていない。

Q 今のバスの時間設定では、2便目が少し遅いと市民の不満になっている。バスの本数を増やせないなら、時間に縛られないサービスを検討、社会実験を積極的に進めようか。

A 石坂生活環境課主幹 滑川市公共交通網形成計画においてデマンド交通の検討を行うこととしており、現在、先進地の調査研究を行っている。

Q 調査研究は、いつごろをめどにしているか。

A 石坂生活環境課主幹 平成33年まで調査研究を行い、それ以降に調査結果もしくは実証実験を行うこととしている。

Q 厚生連滑川病院は、以前から滑

川市民の健康を守ってくれている病院であるが、経営は厳しく市からも毎年援助をしている。消費税増税が行われる中で、これまで同様の支援で来年度も今の医療体制を維持できると考えているか。

A 石川市民課長 消費税率引き上げを踏まえ、診療報酬改定が行われるため、大きな影響はないものと考えている。

Q 保険診療で医療を受ける患者には消費税はかからなくなっているが、病院で使われる薬などの消耗品、電子カルテなどのシステムや医療機器の購入には消費税がかかっている。この消費税はすべて病院の負担になっている。今の改定では割に合わないとの声もあるが大丈夫か。

A 上田市長 私が市長になる前は補助金は1千万円だった。今は要請があるたびに配慮し、ちゃんとやることはやっている。

A 石川市民課長 これまでも産科の医療関係などへ増額し、経営に対して支援をしている。消費税増税についてかかる影響についても診療報酬改定により影響はないものと考えている。

Q 中学生の子どもたちのシャング市への訪問事業の継続について見解を問う。

A 上田教育委員会事務局長 今後とも、継続すべき事業であると考えている。

Q ドウリー小学校と東加積小学校との文化交流の継続について見解を問う。

A 相沢企画政策課主幹 東加積小学校の特色として、引き続き文通を通じた両校の交流を深めたい。

Q 自転車の活用の推進としての、計画的施策の策定について問う。

A 相沢企画政策課主幹 計画的な施策を通して行うことが、自転車の活用の一層の推進に繋がるものと考えている。

Q 自転車損害賠償保険等の加入への普及・啓発施策について問う。

A 石坂生活環境課主幹 昨今の自転車事故による高額損害賠償の事例に鑑みると、自転車保険への加入は重要と考え、ホームページ等で広報啓発を行っている。

Q 自転車活用推進条例の制定の検討について見解を問う。

A 相沢企画政策課主幹 現時点では、条例の制定については、考え

一般質問



1 防災について
2 滑川運動公園について

開田 晃江 議員



一般質問



1 学校図書館について
2 イノシシの農作物被害について
3 東福寺野自然公園について
4 タラソピアについて

脇坂 章夫 議員



Q 防災士の取り組みと現状について、防災士資格取得者は年間何人で総勢何人か、そのための補助は。

A 澤口総務課長 資格取得者は1年に4、5名で、防災士の人数は平成31年3月末で43名である。受講料約1万4千円のうち約4千円を県と市で助成している。

Q 防災士の役割は具体的にどのような活動を指すのか。

A 澤口総務課長 平時時には地域や企業への防災意識の啓発、訓練研修会などで、災害時には公的支援が到達するまでの間、消火、救助活動や避難誘導などを行い、災害発生後は避難所運営や被災者支援活動など担ってもらう。

Q 市に連絡協議会などの設置は。

A 澤口総務課長 平成29年3月に発足しており、現在31名が加入されている。

Q 防災士連絡協議会の補助金額はどのようになっているか。

A 澤口総務課長 初年度は10万円、2年目以降は2万円を限度に補助している。

Q 2万円は少ないか。

A 澤口総務課長 運営の補助ということで、かなりの金額の差はあるが、協議会からは特に要求が上

がっている。

Q 非常時持ち出しグッズ購入の呼びかけと、補助制度を設けてはどうか。災害時に一晩だけの備えがあればまず安心と思うが。

A 澤口総務課長 個人の備蓄品や持ち出しグッズ購入の補助はしていない。

Q 全国植樹祭の会場の体制として公園の一角はあのか状態でいいのか育っている樹木は何割か。

A 荒俣公園緑地課長 雑草の勢いが強く、夏場は除草が追いついていないと認識している。除草や薬剤散布等で早急に対応していきたい。育っている樹木は、現在、半数程度だと思われる。

Q 滑川のビュースポット付近の整備はあのままか。

A 荒俣公園緑地課長 今後、要望や利用状況を見ながら設備の追加や内容の改善をしていきたい。

Q 「公園のまち滑川」にするなら、公園管理維持班をつくる時期では。

A 上田市長 公園だから、公園らしく育て、管理しなければいけないと思っています。総点検をして対応したい。

Q 子どもたちが、お互いに本を読

んで、その本の内容を話したり、

友達の意見を聞くことがあるか。

A 広田学務課長 国語の授業では自分が読んだ本の紹介や意見交換をする学習を行っている。社会科では歴史や産業について、理科では環境や人体・生き物について、総合的な学習の時間では職業や情報について読んで、調べてまとめたことを新聞に書きあらわしたり、意見交換をしたりしている。

Q 県下一番の読書学校づくりができ

ないか。

A 広田学務課長 平成29年度に第2次滑川市子ども読書活動推進計画を策定し、学校図書館機能を強化している。今後も充実した読書環境とするよう努める。

Q イノシシ防止柵の補強、修理な

どもにも補助が受けられないか。

A 黒川農林課長 国の制度を活用している地域については、条件によつては可能であることから、地元から相談があれば協議し、対応したい。

Q 何か新しい対策があるか。

A 黒川農林課長 一昨年から導入した侵入防止用のグレーチングが

一定の効果があると判断している

ことから、他の地域での設置も検討していきたい。効果のある新たな対策があれば、導入に向け積極的に研究していきたい。

Q 東福寺野自然公園のイノシシ、熊対策はどうか。

A 荒俣公園緑地課長 侵入痕跡の多い箇所については防止柵を二重に設置したり、忌避剤の種類や散布回数を増やすなど安全対策に万全を尽くしてまいりたい。

Q タラソピアの損害賠償請求事件の訴訟内容は何であったのか。

A 網谷観光課長 タラソピア2階のヒーリングゾーンを解体し、休憩室を新設する改修が、議会の承認を得ずに予算の流用と、市職員による作業の実施が違法である旨が主張されている。

Q 原告の請求が棄却されたが、市

の見解を伺う。

A 上田市長 市の主張が認められ、原告の請求が棄却されたことは当然のことであると考えている。

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ121チャンネルで、生放送及び録画放送を実施しております。次回の市議会定例会の本会議の放送は、12月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。また、録画放送はYouTubeでも配信しております。

一般質問



・ 海辺の保全・再生・活用について

大浦 豊 貴 議員



Q 浄化センター裏の海岸には、離岸堤がなく堤防のみで、護岸は沈下した状態である。本市の大切なインフラ施設であるが防護面において影響はないものか。

A 岩城建設課長 今年度より海岸堤防等の老朽化対策、緊急事業による、消波工の沈下等についての増強工事、また合わせて護岸の老朽化対策が実施されると聞いている。これらによって対応してもらえらるものと考ええる。

Q 海岸浸食により海岸が非常に狭くなっているが、海岸整備を主として県に要望する際、海岸土砂が豊富な箇所をの整備箇所を持つていくことは可能ではないか。

A 岩城建設課長 県に確認していないので、お答えできないが、県に確認し対応できるものであれば当然進めていただきたいというふうにお願したい。

Q 本市の海は、遊泳禁止だと認識している方がいるが、何故そのように認識されているか見解を問う。

A 長崎商工水産課長 個々の認識なので確かなことはわからないが、市内に海水浴場がないこと、また護岸等に設置されている注意看板

により、そのような認識になっていると考える。何かをもって遊泳を規制するものは特にない。

Q 海岸利用に関し、人々のニーズは高度・多様化しているのではないか。ニーズに対する見解を問う。

A 網谷観光課長 釣りやサーフィンなど市民や観光客が気軽に楽しめるスポットやマリネレジャーの活用など、ニーズはあると考える。

Q それが今、最大限に活用されていると判断しているか。

A 網谷観光課長 富山湾岸クルージングは、富山湾を活用したレジャーの一つだと考えるが、海岸線全体を考えると、設備などがないのでニーズはあるが、活用されていないと認識している。

Q 本市の観光が行政完結型になっており、観光振興は地域経済の活性化のためにあることを決して忘れてはいけないと思っている。そして、相手方がいて初めて観光振興があると考えるが、どうか。

A 網谷観光課長 これまでも、観光協会、民間関係者との連携をとって進めている。当然地域経済も重要と認識している。引き続き連携を取りながら進めていきたい。

一般質問



1 防災について
2 働き方改革について
3 公共施設について

尾崎 照雄 議員



Q 地区防災計画の制度の普及・啓発活動についての見解を問う。

A 澤口総務課長 平成29年4月に、自治会連合会研修会において、地区防災計画の制度についての周知や、計画の策定に向けての検討をお願いした。また、本年8月末現在、西加積地区においては、地区防災計画と同等の内容のマニュアルが定められており、その特性に応じた運用の計画となっている。今後、多くの地区等で計画の策定が進むよう働きかけていきたい。

Q 受援計画策定に対する認識と課題について問う。

A 澤口総務課長 受援計画の必要性は感じているが、現在、未策定の状況である。策定の課題としては、単独の計画とするか、既存の計画に受援に関する規定を追加するか検討する必要があるほか、どのような資源が必要となるかなど、有識者の意見も伺いながら、十分な検討が必要であると考えている。

Q 東福寺野自然公園の管理を委託している文化・スポーツ振興財団の職員が3年連続で有給休暇が与えられていないが問題ではないか。

A 上田市長 私がこの財団の長で

あり、調べて、もしそうだったらすぐに善処したい。

Q 教員の負担が指摘されている給食費の徴収管理業務について、本市の現状について問う。

A 広田学務課長 給食費については、各学校において、学年の集金と一緒に徴収している。全ての学校で、口座引き落としで徴収するよう進めている。今後も、給食会計にかかわる教員の業務の負担がなくなる方向で進めていく。

Q スポーツ・健康の森運動公園の入り口付近の、観客が集まる階段席に屋根をつけてはどうか。

A 荒俣公園緑地課長 多額のコストがかかることや、陸上競技場から見える立山連峰が隠れてしまうなどデメリットもあり、現在屋根の設置は考えていない。

Q 東福寺野自然公園には林道に分かれる箇所が2カ所あるが、道に迷わないように案内看板を設置してはどうか。

A 荒俣公園緑地課長 入り口側の看板は一定の効果を上げていると考える。SLハウス駐車場側についても、わかりやすい案内看板の設置を検討していきたい。

姉妹都市北海道豊頃町

交流訪問
(9月14日～15日)

◎9月14日～15日に1泊2日で姉妹都市である豊頃町に訪問し、交流を深めました。

4年に一度、全議員で訪問することとしていますが、今回は、所用により3名の議員が欠席となったため、11名での参加となりました。

9月14日は、とち帯広空港に到着後、豊頃町職員の案内で帯広周辺の公共施設や観光地を視察するとともに、農業の機械化ということで、GPSにより制御された無人のトラクターが、ジャガイモを収穫する様子を見学しました。

9月15日は、とよころ産業まつりに参加し、原議長、上田市長が来賓者としてステージで紹介を受けました。会場では滑川市の特産品も販売されており、その様子を見学するとともに、豊頃町議会議員の皆さんとさらに交流を深めました。また、豊頃町の住宅施策や農業施策について説明を受けるとともに、鮭の遡上観測所等の見学も行いました。



＜特産品販売の様子＞



＜豊頃町のみなさんと＞

意見書提出要請・要望書

件名及び提出者

処理結果

・意見書提出要請(1件)

- 臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書……………不採択

移植ツーリズムを考える会 理事 井田 敏美

(陳情書となっているが、提出者の意向により意見書提出要請として取り扱った。)

・要望書(3件)

- 「生涯現役社会」を実現するシルバー人材センターの決意と支援の要望……………全議員へ参考配布
公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会令和元年度定時総会
公益社団法人滑川市シルバー人材センター
- 要望書……………全議員へ参考配布
一般社団法人 富山県建築士事務所協会 会長 堂田 重明 外2名
- 2019年世界アルツハイマーデー関連行事のご案内と当事者団体が願う介護保険についての要望
……………全議員へ参考配布
公益社団法人認知症の人と家族の会 富山県支部代表世話人 堀井 隆子

議決結果

議案番号	議 案 内 容 等	委員会	採決結果
議案第53号	動産の取得について（第1回臨時会）	総	原案可決
議案第54号	令和元年度滑川市一般会計補正予算（第2号）	総産	原案可決
議案第55号	令和元年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	産	原案可決
議案第56号	令和元年度滑川市工業団地造成事業特別会計補正予算（第1号）	産	原案可決
議案第57号	令和元年度滑川市水道事業会計補正予算（第1号）	産	原案可決
議案第58号	滑川市森林環境譲与税基金条例の制定について	産	原案可決
議案第59号	滑川市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第60号	滑川市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第61号	滑川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第62号	滑川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第63号	滑川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第64号	滑川市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第65号	滑川市消防団条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第66号	平成30年度滑川市一般会計歳入歳出決算認定について	決	原案認定
議案第67号	平成30年度滑川市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	決	原案認定
議案第68号	平成30年度滑川市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	決	原案認定
議案第69号	平成30年度滑川市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	決	原案認定
議案第70号	平成30年度滑川市工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	決	原案認定
議案第71号	平成30年度滑川市水道事業会計決算認定について	決	原案認定
議案第72号	平成30年度滑川市下水道事業会計決算認定について	決	原案認定
議案第73号	平成30年度滑川市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	決	原案可決
議案第74号	平成30年度滑川市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	決	原案可決
議案第75号	不動産の処分について	産	原案可決
議案第76号	市道の路線認定及び廃止について	産	原案可決
議案第77号	滑川市教育委員会の委員の任命について		
議員提出議案第1号	豚コレラ対策の強化を求める意見書		

委員会欄は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。

※委員会…総：総務文教消防委員会、産：産業厚生建設委員会、決特：決算特別委員会

賛否一覧表

9月定例会は全員賛成だったため、賛否一覧表は掲載しません。

議会の傍聴をしてみませんか？

滑川市議会では、皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴の手続きはとても簡単です。代表質問・一般質問での議員と市当局とのやりとりを生でご覧になってみませんか？ぜひ、お誘いあわせの上、傍聴においでください。（小・中学生も傍聴できます。）

(P14に掲載した市議会YouTube「はじめての傍聴」もご参考にしていただければと思います。)

傍聴は簡単 3ステップ

ステップ1 市役所に行く

議会があるのは市役所の3階。
まずは議会事務局へ行こう。



議会があるのは
このあたり

予約不要!!

ステップ2 申し込み書類を書く

書くのは住所、氏名のみ。
書いたら傍聴券と書類をもらおう。



受付は30秒で終了♪

超简单!!

ステップ3 議場に入る

入ったら椅子に座り、話を聞くだけ。
わからないことがあったら、書類を
見てみよう。



議場にはこの扉から

静かにね ♪

★代表質問・一般質問

市政や提出された議案について、議員が市長に対し質問します。

代表質問は、会派に所属する議員が会派を代表して行う質問のことです。制限時間は40分で、一括質問方式、一問一答方式のいずれかを選択します。会派に所属しない議員が行う質問が一般質問です。制限時間は30分で、一問一答方式のみで行います。なお、市当局の答弁時間は含まれません。

12月定例会が下記の日程で開催されます

日	時間	摘 要
12月2日(月)	10時	会期の決定、提案理由説明、補足説明
9日(月)	10時	代表、一般質問
10日(火)	10時	一般質問
11日(水)	10時	総務文教消防委員会
12日(木)	10時	産業厚生建設委員会
16日(月)	11時	委員長報告、質疑、討論、採決

滑川市議会ホームページをご覧ください



滑川市議会のホームページをご覧になったことがありますか？

市議会ホームページには議員名簿や議会の日程、市議会だより等のほか、定例会開催時には質問事項も掲載されます。

また、「はじめての傍聴」や「行政視察報告」の動画(Net3で放送したもの)が掲載されているYouTubeページへのリンクも新たに作成しました。

まだご覧になったことがない方は、ぜひ一度滑川市議会ホームページをご覧ください。

市議会では、今後もホームページやYoutubeページの充実に努めてまいります。

※傍聴動画へのアクセス

市議会ホームページ→傍聴・請願及び陳情「議会の傍聴」→傍聴イメージ動画「はじめての傍聴」

市議会だよりについて、皆様のご意見をお寄せください。

滑川市議会だよりは、5名の編集委員と議会事務局職員が連携して編集作業に当たっております。

市議会だよりを通して、市議会の動きや、市の課題等についてお知らせするため、より親しみやすく、わかりやすい紙面を目指しております。

今後、より充実した内容に発展させるため、議会だよりについて、感想やご意見をお聞かせください。

ご意見は、電話、FAX、メール等で受け付けております。

TEL 076-475-2111 (内線 371) FAX 076-476-0400

メール gikai@city.namerikawa.lg.jp

滑川市議会ホームページに アクセスできる QRコード



このQRコードをスマートフォン等で読み込めば、市議会ホームページにアクセスできます。



【議会報編集委員】

角川真人委員長
岩城晶巳副委員長
竹原正人委員
尾崎照雄委員
開田晃江委員

電話 475-2111
(内線 371)

12月定例会で、委員会の構成が変更になるため、この号がこのメンバーでの最後の議会だよりの発行になります。2年間ありがとうございました。市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。傍聴のページをご覧になった方が一人でも多く議場に来ていただくことを期待しています。詳しくは、事務局までご連絡ください。

議会報編集委員会から